

2023 年 12 月 26 日

各 位

昭和リース株式会社
ラピュタロボティクス株式会社

ラピュタロボティクス株式会社との協働型ピッキングアシストロボットに関する 製品運用契約に伴う製品運用開始について

SBI 新生銀行グループの昭和リース株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：平野 昇一、以下「昭和リース」）はロボティクスプラットフォームを提供するラピュタロボティクス株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役 CEO：モーハナラジャー・ガジャン、以下「ラピュタロボティクス」）との間で協働型ピッキングアシストロボット（以下「ラピュタ PA-AMR」）に関する製品運用契約（以下「本取引」）を締結し、今般、実際の製品運用を開始いたしました。

【本取引の概要】

・ 本取引の内容

本取引では、昭和リースとラピュタロボティクスが協業し、ラピュタ PA-AMR のサブスクリプションサービスを提供します。RaaS (Robotics as a Service) によって、手軽に DX をすすめられる環境を整えることで、物流業界における生産性向上と労働環境の改善の早期実現を目指します。

・ ラピュタ PA-AMR について

物流倉庫で人と協働するロボットのラピュタ PA-AMR は、現在の倉庫オペレーションを止めず、既存の倉庫レイアウトに導入可能で、ピッキング業務の生産性向上、作業者の歩行距離・時間を削減、人不足の問題を解決する最新のロボットソリューションです。クラウドロボティクス・プラットフォーム「rapyuta.io」と、群制御 AI により、複数台のロボットが最適なルートで連携し荷物の搬送を行います。ラピュタ PA-AMR は、毎月のロボットサービス使用料・メンテナンス料等をすべて含むサブスクリプションサービスでの導入が可能です。

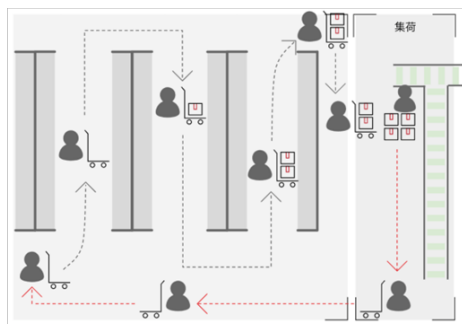
・ 人とラピュタ PA-AMR の協働による生産性向上のイメージ



ラピュタ PA-AMR

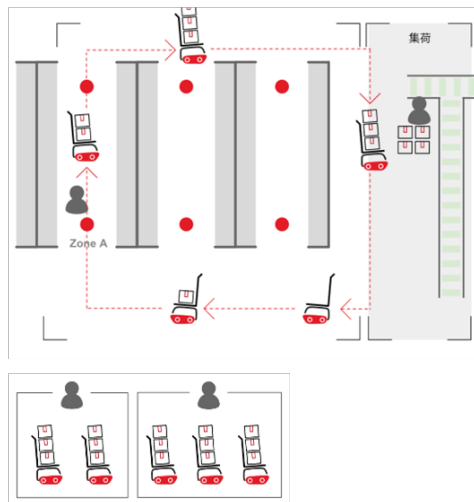
＜AMR導入前：カートピッキング＞

スタッフがカートを押して、一筆書きのように倉庫全体を歩行



＜AMR導入後：移動時間削減と生産性向上＞

スタッフ1人あたりに、AMRが2～3台の割合で配備される。スタッフは近くに来たロボットに荷物を積み込むだけ。



なお、ラピュタロボティクスは、SBI ホールディングス株式会社の 100%子会社である SBI インVESTメント株式会社から出資を受けており、本件は SBI インVESTメントからの紹介を契機とした取り組みです。

SBI 新生銀行グループは、中期経営計画「SBI 新生銀行グループの中期ビジョン」の実現に向けて「環境・社会課題解決へ向けた金融機能提供」を掲げており、このたびの協業はその具体的な取り組みのひとつです。昭和リースは今後、ラピュタ PA-AMR をはじめとした RaaS へのビジネス展開の強化を図る中で、社会・環境分野におけるサステナビリティ課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

以 上

お問い合わせ先

SBI新生銀行 グループ IR・広報部

報道機関のみなさま: SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp

ラピュタロボティクス株式会社 広報担当: 大橋

pr@rapyuta-robotics.com